

社会教育研究部門

「教育と公共」研究部会（第5回）

日時：2019年8月9日（金）13:00～16:00

場所：野間教育研究所 2F 閲覧スペース

出席：田嶋一・浅井幸子・狩野浩二・藤井佳世 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・川上智子

欠席：上野正道・仲田康一 各兼任研究員

内容：（1）藤井佳世研究員の発表

◆「教育の公共性」って何なの？（『教育学 21 の問い』2009年2月）から

1. 教育の公共性と公教育は同じなのか？

・「公教育」：法律に定められた学校の教育（公の性質を有する）

・「教育の公共性」：上記の公共性より広い概念

2. 「公」の意味～公共性を考える

・ハーバーマスによる「公」の特徴：1. 対等の作法 2. 批判的機能 3. 非閉鎖性

・その三つを備え、複数性によって構成される場＝「公共空間」

・公共空間としての教育：異なる他者とともに共通のテーマについて、継続的に討論することが可能な空間

3. 教育の私事化：個人化と消費の考え方

4. 教育における親密圏：特定の具体的な人間によって営まれる「私」の領域

5. 教育の公共性がゆらいでいる

6. 「共に」ある構成者の視点が重要

（2）浅井幸子研究員の発表

◆文献購読：権安理『公共的なるもの—アーレントと戦後日本』（作品社 2018年）の購読、内容紹介

・次回研究会は、9月13日（金）11:00～。仲田研究員、狩野研究員の発表

・次々回は10月11日（金）13:00～。田嶋研究員、上野研究員の発表